

災害応急対策（防災拠点） 検討部会

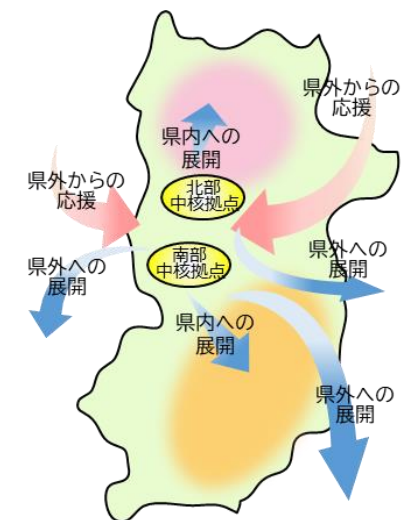
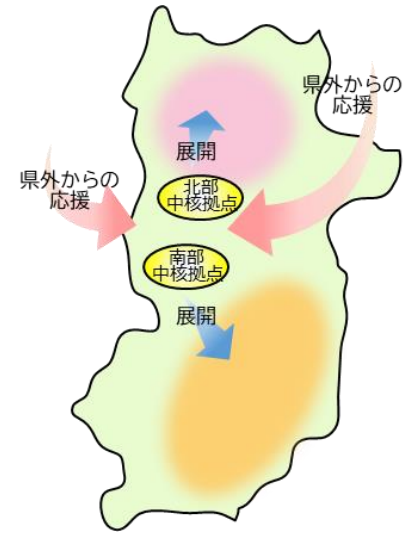
奈良県災害応急対策（防災拠点）基本構想（案） 新旧対照表

令和7年1月30日
奈良県防災統括室

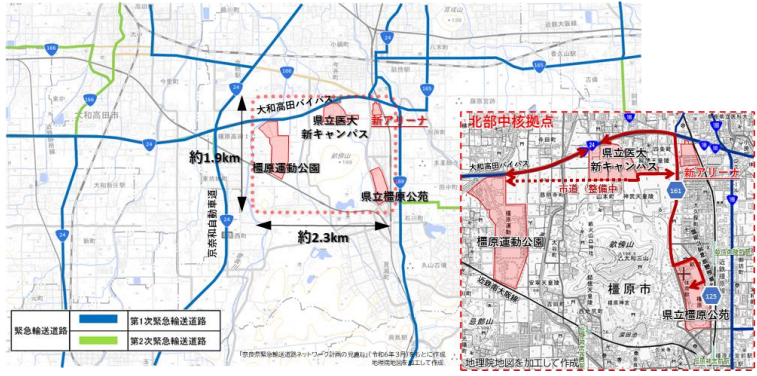
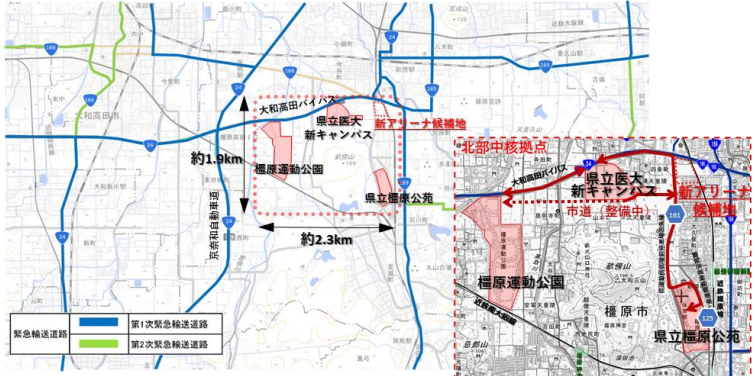
基本構想(案) 新旧対照表(第5回検討部会からの修正事項)

| 項数 | 新 | 旧 | 備考 |
|----|--|---|------------------|
| 4 | <p>2. 想定する災害</p> <p>(略)</p> <p>2.1. 地震</p> <p>(略)</p> <p>(2)南海トラフ地震</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府の地震調査研究推進本部地震調査委員会における長期評価によると、南海トラフ沿いで発生する大規模な地震として、今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率は80 %程度と評価されている。その被害想定を表 2 2に示す。 <p>(略)</p> | <p>2. 想定する災害</p> <p>(略)</p> <p>2.1. 地震</p> <p>(略)</p> <p>(2)南海トラフ地震</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府の地震調査研究推進本部地震調査委員会における長期評価によると、南海トラフ沿いで発生する大規模な地震として、今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率は70～80 %に達すると評価されている。その被害想定を表 2 2に示す。 <p>(略)</p> | (変更) |
| 6 | <p>2.2. 風水害</p> <p>(略)</p> <p>(3)風水害で想定される被害</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、線状降水帯の発生等により、各地で時間当たりの降水量が観測史上1位を更新するなど、記録的な大雨が観測されている。こうした大雨がもたらす土砂災害、河川氾濫によって、人的・物的被害など甚大な被害が広範囲で発生しているため、今後、本県においても同様の被害が発生することを想定しておく必要がある。 過去に発生した大和川大水害や紀伊半島大水害、近年の全国各地の大雨による被害を踏まえると、風水害では以下のような被害が想定される。 <p>(略)</p> | <p>2.2. 風水害</p> <p>(略)</p> <p>(3)風水害で想定される被害</p> <ul style="list-style-type: none"> 大和川大水害や紀伊半島大水害による被害を踏まえると、風水害では以下のような被害が想定される。 <p>(略)</p> | (新設) (追加) |

基本構想(案) 新旧対照表(第5回検討部会からの修正事項)

| 項数 | 新 | 旧 | 備考 |
|----|---|---|------|
| 11 | <p>3. 広域防災拠点のあり方 3.3. 配置スタイルの考え方</p> <p>(略)</p>  <p>図3-2 配置スタイルのイメージ</p> | <p>3. 広域防災拠点のあり方 3.3. 配置スタイルの考え方</p> <p>(略)</p>  <p>図3-2 配置スタイルのイメージ</p> | (追加) |
| 17 | <p>4. 必要な機能・規模の考え方</p> <p>(略)</p> <p>4.5. 広域防災拠点等の機能・規模の確保方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 想定する地震や風水害を含めて県内の被害が最大となる奈良盆地東縁断層帯地震において、応援部隊、支援物資、医療支援の受入に必要な面積を被災リスクも踏まえて広域防災拠点及び既存施設で確保する。 <p>(略)</p> | <p>4. 必要な機能・規模の考え方</p> <p>(略)</p> <p>4.5. 広域防災拠点等の機能・規模の確保方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の被害が最大となる奈良盆地東縁断層帯地震において、応援部隊、支援物資、医療支援の受入に必要な面積を被災リスクも踏まえて広域防災拠点及び既存施設で確保する。 <p>(略)</p> | (変更) |

基本構想(案) 新旧対照表(第5回検討部会からの修正事項)

| 項数 | 新 | 旧 | 備考 |
|----|---|---|-------------------------|
| 20 | <p>5. 北部中核拠点・南部中核拠点のあり方</p> <p>5.1. 北部中核拠点</p> <p>(略)</p> <p>(2)アクセス整理</p> <p>(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立医大新キャンパスと榑原運動公園は大和高田バイパスに隣接している。県立榑原公苑や新アリーナは大和高田バイパスや国道169号等からアクセスが可能である。 <p>(略)</p>  <p>図5-2 北部中核拠点のアクセス整理</p> | <p>5. 北部中核拠点・南部中核拠点のあり方</p> <p>5.1. 北部中核拠点</p> <p>(略)</p> <p>(2)アクセス整理</p> <p>(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立医大新キャンパスと榑原運動公園は大和高田バイパスに隣接している。県立榑原公苑や新たに検討しているアリーナ施設は大和高田バイパスや国道169号等からアクセスが可能である。 <p>(略)</p>  <p>図5-2 北部中核拠点のアクセス整理</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

